

土浦の自然を守る会経過報告

四十八年九月〜十二月

9月8日

長編記録映画「水俣」上映。この映画会の記録は、桜川五号に、中沢玲子さんが詳しく報告しております。

9月13日

「水俣」上映の反省会

9月15日

霞ヶ浦汚染に対する当会の対処方針について検討会が開かれ、自然を守る会として、全力を挙げて浄化のために尽力する事を決定。いくつかの方針案が提出されました。

一、「命の水を守る」チラシの草案の作成受持ち 奥井登美子会員（参1）

二、土浦市民の飲料水に関するアンケート調査の草案作成 受持ち 中沢玲子会員（参2）

三、アンケートの回収後、その結果をもとにして、霞ヶ浦浄化に関する請願書を作成し、四十九年二月ころから市内全域に亘り、署名運動を展開する。

9月20日

「命の水を守る」のチラシ及びアンケート内容の検討会

9月27日

その日には常連の他に、滝田さん、船津さん、渡辺さんなどが始めて会合に参加したために非常に有益な討論会となりました。私たち、自然を守る会の会合は、決して閉鎖的なものではなく、どなたでも自由に気安く入れますので、これまでもおいでになったことのない方も、何かの会合の折は、ぜひともご参加ください。

10月4日

チラシ アンケートの最終案の検討及び配布の方法などの話し合い。

10月14日

駅前常陽銀行支店前で、街頭アンケート調査。机の上に、阿見、水郷汽船場、石田の三か所から採取してきた霞ヶ浦の水を展示。通行人に署名を呼びかけました。水は恐ろしく臭く、悪りすがりの人も思わず顔をしかめて何事かとのぞき込む人も大勢おりました。

10月21日

市民会館内で再び水を展示し、文化祭の参加者に署名を呼びかけました。

10月1日

11月15日 市街地区及び城域でアンケート調査。